



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書(全体版)

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (愛称：GGO)

追加型投信／内外／株式
第44期(決算日2020年7月31日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じたときは、信託契約を解約し、信託を終了(償還)することがあります。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主運用対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズマザーファンド	世界各国の株式(日本株を含みます)を主要投資対象とします。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ	①株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズマザーファンド	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	(1) 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。 (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方針」に基づき元本と同一の運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ」は、このたび第44期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	基 準 価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 込 金	期 騰 落 中 率					
	円	円	%		%	%	%	百万円
40期(2018年7月31日)	16,249	0	△ 0.6	680,056	0.1	96.5	1.4	767
41期(2019年1月31日)	14,908	0	△ 8.3	629,979	△ 7.4	93.5	1.6	657
42期(2019年7月31日)	16,900	110	14.1	696,200	10.5	93.8	1.9	704
43期(2020年1月31日)	18,237	60	8.3	758,409	8.9	93.0	—	696
44期(2020年7月31日)	19,829	70	9.1	713,296	△ 5.9	93.0	—	716

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	%	%
2020年1月31日	18,237	—	93.0	—	—
2月末	17,297	△ 5.2	97.0	—	—
3月末	14,946	△18.0	97.1	—	—
4月末	16,657	△ 8.7	94.3	—	—
5月末	17,704	△ 2.9	92.9	—	—
6月末	18,450	1.2	93.2	—	—
(期 末)					
2020年7月31日	19,899	9.1	93.0	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

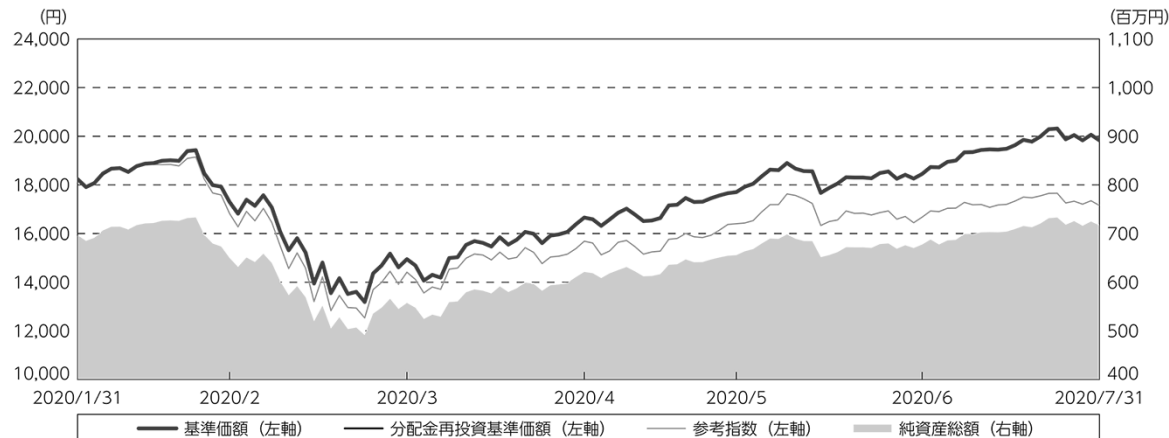
※参考指数について
当ファンドの参考指数は「MSCIワールド・インデックス（円ベース）」です。「MSCIワールド・インデックス（円ベース）」は、原則として基準価額計算日前日付のMSCIワールド・インデックス（米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の円ドル・レート（株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。
当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2020年2月1日～2020年7月31日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2020年1月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比+9.1%※と、世界の株式市場の動きを表すMSCIワールド・インデックス（円ベース）の同-5.9%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・情報技術関連やヘルスケア関連などの保有銘柄の価格上昇

下落要因

- ・金融関連などの保有銘柄の価格下落
- ・円高ドル安となったこと

投資環境

(2020年2月1日～2020年7月31日)

【株式市場】

当期の世界の株式市場は、大幅に下落する場面があったものの、その後上昇に転じ、前期末比では若干の下落となりました。

期初から2020年2月中旬にかけては、堅調な米国経済などを背景に底堅く推移しましたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への悪影響が懸念され、大幅に下落しました。しかし、3月下旬には、米国の経済対策法案の可決や欧州中央銀行（ECB）による追加緩和策などを受けて反発し、その後も各国による追加的な支援策やワクチン開発への期待、世界各地での経済活動再開などを受けて、おおむね堅調に推移しました。6月以降期末にかけては、新型コロナウイルス感染拡大第2波への懸念が生じたものの、米国のハイテク関連銘柄の値上がりや、欧州復興基金創設などが株価を後押ししました。

【為替市場】

円ドル・レートは、前期末と比べて円高ドル安となりました。

2020年2月は円安傾向で推移しましたが、その後3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行しました。3月中旬にはドルが反発したものの、その後は再び円高ドル安基調となりました。6月以降期末にかけても、新型コロナウイルス感染拡大第2波への懸念が再燃する中、米連邦公開市場委員会（FOMC）が金融緩和策の継続を決定したことなどから、円高ドル安で推移しました。

運用概況

(2020年2月1日～2020年7月31日)

<当ファンド>

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた世界各国（日本を含む）の株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは引き続き、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

＜マザーファンド＞

世界各国（日本を含む）の株式を対象に成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、グローバルな視点で調査・分析し、持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、企業のファンダメンタル分析に基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、資本財・サービス・セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、金融セクターや一般消費財・サービス・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、デンマークやドイツなどの組入比率が上昇しました。一方、インドや日本などの組入比率は低下しました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

前期末（2020年1月31日現在）

セクター	比率
情報技術	25.5%
ヘルスケア	22.3%
金融	12.2%
資本財・サービス	9.7%
一般消費財・サービス	7.8%
その他	15.5%
現金等	7.0%



当期末（2020年7月31日現在）

セクター	比率
情報技術	26.0%
ヘルスケア	24.3%
資本財・サービス	14.5%
金融	8.9%
素材	6.4%
その他	13.1%
現金等	6.9%

＜マザーファンドの国別組入比率＞

前期末（2020年1月31日現在）

国	比率
アメリカ	45.4%
オランダ	8.0%
日本	5.7%
インド	4.8%
アイルランド	4.3%
その他	24.8%
現金等	7.0%



当期末（2020年7月31日現在）

国	比率
アメリカ	46.6%
オランダ	8.8%
デンマーク	5.5%
ドイツ	5.3%
スイス	4.2%
その他	22.7%
現金等	6.9%

（注）セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。
国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

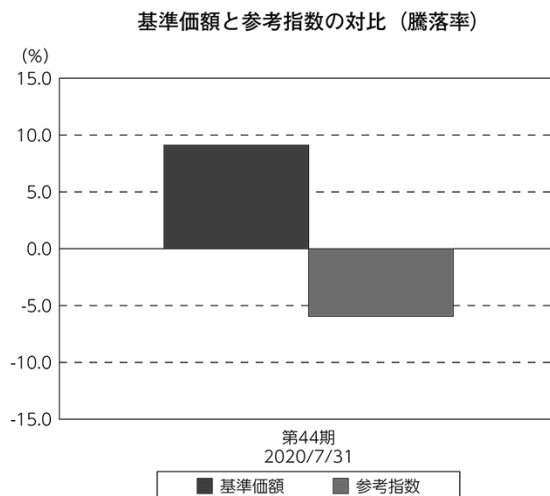
個別銘柄では、廃棄物管理サービス会社のウェイスト・マネジメントや臨床検査会社のラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカ・ホールディングズなどを新規に組み入れたほか、風力タービンメーカーのヴェスタス・ウィンド・システムズなどを買い増しました。一方、保育・早期教育サービス会社のブライト・ホライズン・ファミリー・ソリューションズなどを全て売却したほか、ベビーケア・ヘルスケア関連用品等の製造・販売会社のユニ・チャームや水道会社のアメリカン・ウォーター・ワークスなどを一部売却しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年2月1日～2020年7月31日)

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。右のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。

分配金

(2020年2月1日～2020年7月31日)

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、70円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第44期
	2020年2月1日～ 2020年7月31日
当期分配金	70
(対基準価額比率)	0.352%
当期の収益	70
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,843

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

新型コロナウイルスの影響により、世界経済がマイナス成長に落ち込む中、それを織り込む形でバリュエーションの調整、業績見通しの下方修正などを急速に行ったグローバル株式市場ですが、全体が落ち着きを取り戻して底を打ち、上昇相場に転じるかどうかは、新型コロナウイルスの収束が鍵となるとみています。しかし、そうした中でも、各国の構造改革や新規投資を追い風に成長を続けるセクターや、新たなサイクルを生み出すビジネスモデルに着目した投資には、一定のリターンが期待されます。

マザーファンドでは、持続可能な利益成長が期待される投資機会として、国際連合総会で採択された持続可能な開発目標に対応する企業に着目しています。今後も長期的に成長が期待されるセクターやテーマに基づいて、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業を発掘する方針です。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 2 月 1 日～2020年 7 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	158	0.919	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(80)	(0.465)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.410)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	5	0.031	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.015)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	164	0.960	
期中の平均基準価額は、17,215円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

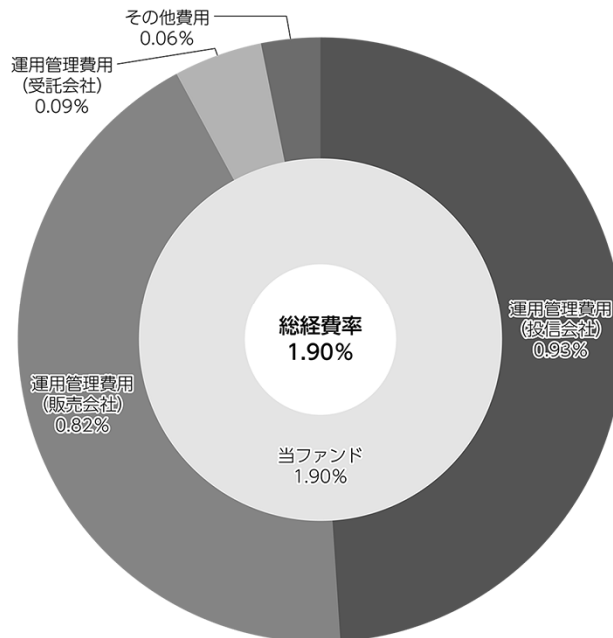
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年2月1日～2020年7月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	4,360	13,128	19,493	59,210

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年2月1日～2020年7月31日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,233,598千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,737,710千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.33

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月1日～2020年7月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月31日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	231,104	215,970	715,489

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年7月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	715,489	98.4
コール・ローン等、その他	11,312	1.6
投資信託財産総額	726,801	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,523,457千円）の投資信託財産総額（7,939,528千円）に対する比率は94.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル＝104.60円、1ユーロ＝124.13円、1英ポンド＝137.21円、1スイスフラン＝115.13円、1スウェーデンクローナ＝12.04円、1デンマーククローネ＝16.67円、1香港ドル＝13.50円、1インドルピー＝1.41円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	726,801,630
コール・ローン等	901,964
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド(評価額)	715,489,666
未収入金	10,410,000
(B) 負債	10,305,125
未払収益分配金	2,529,416
未払解約金	1,806,245
未払信託報酬	5,914,462
未払利息	2
その他未払費用	55,000
(C) 純資産総額(A－B)	716,496,505
元本	361,345,258
次期繰越損益金	355,151,247
(D) 受益権総口数	361,345,258口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,829円

(注) 期首元本額381,909,419円、期中追加設定元本額9,491,467円、期中一部解約元本額30,055,628円。当期末現在における1口当たり純資産額1.9829円。

○損益の状況 (2020年2月1日～2020年7月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 241
支払利息	△ 241
(B) 有価証券売買損益	66,234,115
売買益	69,071,822
売買損	△ 2,837,707
(C) 信託報酬等	△ 5,969,485
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	60,264,389
(E) 前期繰越損益金	236,794,436
(F) 追加信託差損益金	60,621,838
(配当等相当額)	(205,707,995)
(売買損益相当額)	(△145,086,157)
(G) 計(D＋E＋F)	357,680,663
(H) 収益分配金	△ 2,529,416
次期繰越損益金(G＋H)	355,151,247
追加信託差損益金	60,621,838
(配当等相当額)	(205,707,995)
(売買損益相当額)	(△145,086,157)
分配準備積立金	294,529,650
繰越損益金	△ 241

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 第44期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(60,264,542円)、収益調整金額(205,707,995円)および分配準備積立金額(236,794,524円)より分配対象収益額は502,767,061円(10,000口当たり13,913円)であり、うち2,529,416円(10,000口当たり70円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	70円
-----------------	-----

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）
※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・ オポチュニティーズ・マザーファンド

第22期(決算日2020年7月31日)

(計算期間：2019年8月1日～2020年7月31日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主 要 運 用 対 象	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電 話 番 号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率		騰 落 率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
18期(2016年8月1日)	16,936	△19.8	484,213	△17.5	98.4	—	0.6	5,592
19期(2017年7月31日)	22,937	35.4	605,375	25.0	94.6	—	—	6,580
20期(2018年7月31日)	25,865	12.8	680,056	12.3	96.6	—	1.4	6,882
21期(2019年7月31日)	27,572	6.6	696,200	2.4	93.8	—	1.9	6,926
22期(2020年7月31日)	33,129	20.2	713,296	2.5	93.1	—	—	7,879

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率			
(期 首)	円	%		%	%	%	%
2019年7月31日	27,572	—	696,200	—	93.8	—	1.9
8月末	26,278	△4.7	661,745	△4.9	93.7	—	2.1
9月末	26,516	△3.8	685,466	△1.5	91.8	—	1.4
10月末	27,337	△0.9	711,791	2.2	91.2	—	1.4
11月末	28,754	4.3	737,984	6.0	94.8	—	1.3
12月末	29,592	7.3	758,969	9.0	95.6	—	—
2020年1月末	30,113	9.2	758,409	8.9	93.0	—	—
2月末	28,602	3.7	699,550	0.5	96.9	—	—
3月末	24,761	△10.2	599,336	△13.9	96.9	—	—
4月末	27,630	0.2	652,261	△6.3	94.0	—	—
5月末	29,402	6.6	682,172	△2.0	92.5	—	—
6月末	30,685	11.3	693,405	△0.4	92.7	—	—
(期 末)							
2020年7月31日	33,129	20.2	713,296	2.5	93.1	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※参考指数について

当ファンドの参考指数は「MSCIワールド・インデックス（円ベース）」です。「MSCIワールド・インデックス（円ベース）」は、原則として基準価額計算日前日付のMSCIワールド・インデックス（米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の円ドル・レート（株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2019年8月1日～2020年7月31日)

○基準価額等の推移

基準価額は前期末比+20.2%となりました。

○基準価額の主な変動要因

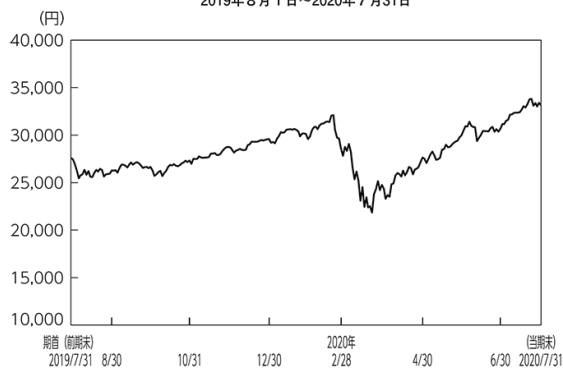
上昇要因

- ・情報技術関連やヘルスケア関連などの保有銘柄の価格上昇

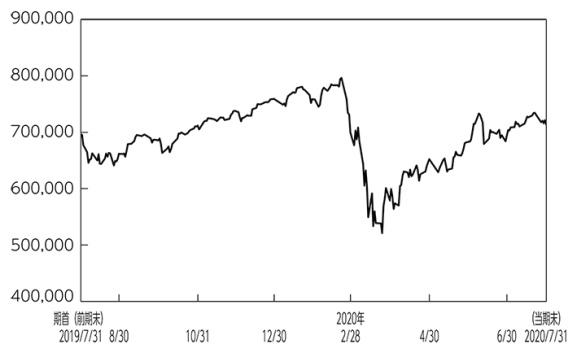
下落要因

- ・金融関連などの保有銘柄の価格下落
- ・円高ドル安となったこと

当期中の基準価額の推移
2019年8月1日～2020年7月31日



当期中の参考指数の推移
2019年8月1日～2020年7月31日



*参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

投資環境

(2019年8月1日～2020年7月31日)

【株式市場】

当期の世界の株式市場は、大幅に下落する場面があったものの、その後上昇に転じ、前期末比では上昇しました。

期初から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待や米国の利下げに対する期待感のほか、好調な米国企業業績などを背景に、おおむね堅調に推移しました。しかし、2月下旬には新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への悪影響が懸念され、大幅に下落しました。その後3月下旬には、米国の経済対策法案の可決や欧州中央銀行（ECB）による追加緩和策などを受けて反発し、その後も各国による追加的な支援策やワクチン開発への期待、世界各地での経済活動再開などを受けて、おおむね堅調に推移しました。6月以降期末にかけては、新型コロナウイルス感染拡大第2波への懸念が生じたものの、米国のハイテク関連銘柄の値上がりや、欧州復興基金創設などが株価を後押ししました。

【為替市場】

円ドル・レートは、前期末と比べて円高ドル安となりました。

期初は円高ドル安傾向でしたが、2019年8月下旬以降2020年2月にかけては、米中貿易摩擦の緊張緩和や堅調な米国株式市場の流れから、円安ドル高基調で推移しました。その後3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行しました。3月中旬にはドルが反発したものの、その後は再び円高ドル安基調となりました。6月以降期末にかけても、新型コロナウイルス感染拡大第2波への懸念が再燃する中、米連邦公開市場委員会（FOMC）が金融緩和策の継続を決定したことなどから、円高ドル安で推移しました。

運用概況

(2019年8月1日～2020年7月31日)

当マザーファンドは、主として世界各国（日本を含む）の株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

世界各国（日本を含む）の株式を対象に成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、グローバルな視点で調査・分析し、持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、企業のファンダメンタル分析に基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、一般消費財・サービス・セクターなどの組入比率が低下したほか、不動産セクターを全て売却しました。国別配分においては、オーストリアを新たに組み入れたほか、オランダやデンマークなどの組入比率が上昇しました。一方、インドや日本などの組入比率が低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末（2019年7月31日現在）

セクター	比率
ヘルスケア	21.9%
情報技術	20.4%
資本財・サービス	13.1%
金融	10.8%
一般消費財・サービス	9.5%
その他	20.2%
現金等	4.2%



当期末（2020年7月31日現在）

セクター	比率
情報技術	26.0%
ヘルスケア	24.3%
資本財・サービス	14.5%
金融	8.9%
素材	6.4%
その他	13.1%
現金等	6.9%

<マザーファンドの国別組入比率>

前期末（2019年7月31日現在）

国名	比率
アメリカ	48.4%
ドイツ	5.7%
日本	5.6%
インド	5.1%
中国	5.1%
その他	25.8%
現金等	4.2%



当期末（2020年7月31日現在）

国名	比率
アメリカ	46.6%
オランダ	8.8%
デンマーク	5.5%
ドイツ	5.3%
スイス	4.2%
その他	22.7%
現金等	6.9%

※セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、廃棄物管理サービス会社のウェイスト・マネジメントや電子機器の受託生産会社のフレックスなどを新たに組み入れたほか、加工食品メーカーのクリスチャン・ハンセン・ホールディングなどを買増しました。一方、住宅ローン会社のHDFC (Housing Development Finance) やオンライン小売会社のアマゾン・ドット・コムなどを全て売却したほか、水道会社のアメリカン・ウォーター・ワークスなどを一部売却しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

新型コロナウイルスの影響により、世界経済がマイナス成長に落ち込む中、それを織り込む形でバリュエーションの調整、業績見通しの下方修正などを急速に行ったグローバル株式市場ですが、全体が落ち着きを取り戻して底を打ち、上昇相場に転じるかどうかは、新型コロナウイルスの収束が鍵となるとみています。しかし、そうした中でも、各国の構造改革や新規投資を追い風に成長を続けるセクターや、新たなサイクルを生み出すビジネスモデルに着目した投資には、一定のリターンが期待されます。

当マザーファンドでは、持続可能な利益成長が期待される投資機会として、国際連合総会で採択された持続可能な開発目標に対応する企業に着目しています。今後も長期的に成長が期待されるセクターやテーマに基づいて、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業を発掘する方針です。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年8月1日～2020年7月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 8	% 0.028	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(8)	(0.028)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(b) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.010	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.010)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	23	0.080	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(18)	(0.064)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	34	0.118	
期中の平均基準価額は、28,103円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年8月1日～2020年7月31日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 17 (1)	千円 63,570 (ー)	千株 45	千円 237,261
	アメリカ	百株 2,567 (54)	千米ドル 13,805 (ー)	百株 1,962	千米ドル 16,861
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	224	610	242	1,371
	フランス	16	222	456	687
	オランダ	141 (7)	1,786 (ー)	51	608
	オーストリア	459	1,542	138	244
	アイルランド	ー	ー	53	309
	イギリス	251 (271)	千英ポンド 355 (63)	740 (ー)	千英ポンド 1,258 (63)
	スイス	1	千スイスフラン 138	3 (ー)	千スイスフラン 159 (4)
	デンマーク	186	千デンマーククローネ 10,433	87	千デンマーククローネ 5,617
	香港	464	千香港ドル 8,596	21,521 (ー)	千香港ドル 11,538 (141)
	インド	943	千インドルピー 119,573	930	千インドルピー 152,154

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は株式分割、予約権行使（株式転換）、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	SBA COMMUNICATIONS CORP	ー	ー	4	1,174

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

○株式売買比率

(2019年8月1日～2020年7月31日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,729,122千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,652,665千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.86

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月1日～2020年7月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月31日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期	
	株 数	株 数	評 価 額
化学 (24.4%)	千株	千株	千円
ユニ・チャーム	37	15.7	74,700
電気機器 (43.3%)			
堀場製作所	15.6	—	—
キーエンス	1.6	3	132,660
サービス業 (32.3%)			
リクルートホールディングス	21.5	30.2	98,693
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数	評 価 額
	75	48	306,054
銘 柄 数 < 比 率 >	4	3	< 3.9% >

(注) 銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) —印は該当なし。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES		72	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR		54	—	—	—	小売
AMERICAN WATER WORKS CO INC		135	90	1,326	138,758	公益事業
BIO-RAD LABORATORIES A		42	40	2,175	227,568	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUTIONS INC		78	—	—	—	消費者サービス
DANAHER CORP		89	71	1,448	151,516	ヘルスケア機器・サービス
ECOLAB INC		78	59	1,134	118,683	素材
HDFC BANK LTD-ADR		54	—	—	—	銀行
HEXCEL CORP		121	—	—	—	資本財
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS		—	86	1,684	176,187	ヘルスケア機器・サービス
MSCI INC		59	56	2,128	222,642	各種金融
NIKE INC -CL B		92	140	1,356	141,884	耐久消費財・アパレル
PROCTER & GAMBLE CO/THE		84	99	1,305	136,503	家庭用品・パーソナル用品
ROCKWELL AUTOMATION INC		—	40	894	93,590	資本財
SAILPOINT TECHNOLOGIES HOLDI		310	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SCHWAB (CHARLES) CORP		191	176	592	61,931	各種金融
SQUARE INC - A		108	102	1,319	138,000	ソフトウェア・サービス
TREX COMPANY INC		—	83	1,164	121,847	資本財
UNITEDHEALTH GROUP INC		51	32	995	104,114	ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		85	65	1,269	132,814	ソフトウェア・サービス
WASTE MANAGEMENT INC		—	134	1,465	153,311	商業・専門サービス
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES		75	69	1,882	196,876	ヘルスケア機器・サービス
XYLEM INC		190	197	1,473	154,116	資本財
ZENDESK INC		69	107	1,078	112,819	ソフトウェア・サービス
APTIV PLC		127	141	1,135	118,818	自動車・自動車部品
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A		208	208	823	86,098	ソフトウェア・サービス
QIAGEN N. V.		200	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMAZON. COM INC		6	—	—	—	小売
APPLE INC		47	33	1,270	132,932	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BRUKER CORP		184	201	887	92,837	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CREE INC		—	155	1,071	112,080	半導体・半導体製造装置
ETSY INC		122	—	—	—	小売
MICROSOFT CORP		94	72	1,470	153,859	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP		45	27	1,170	122,391	半導体・半導体製造装置
PROOFPOINT INC		51	96	1,202	125,804	ソフトウェア・サービス
ICON PLC		51	47	888	92,975	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NXP SEMICONDUCTORS NV		—	91	1,074	112,435	半導体・半導体製造装置
FLEX LTD		—	1,118	1,302	136,289	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額	3,186	3,847	36,995	3,869,690	
	銘 柄 数 < 比 率 >	31	29	—	< 49.1% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SIEMENS AG		57	—	—	—	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG		649	675	1,416	175,869	半導体・半導体製造装置
WIRECARD AG		33	—	—	—	ソフトウェア・サービス
GERRESHEIMER AG		156	203	1,944	241,338	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額	896	878	3,361	417,208	
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	2	—	< 5.3% >	

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価	額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SCHNEIDER ELECTRIC SE		117	112	1,128	140,111	資本財
DASSAULT SYSTEMES SA		67	79	1,213	150,672	ソフトウェア・サービス
SUEZ		448	—	—	—	公益事業
小	計	株 数 ・ 金 額	632	192	2,342	290,784
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	2	—	<3.7%>	
(ユーロ…オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV		293	367	1,634	202,897	ヘルスケア機器・サービス
KONINKLIJKE DSM NV		87	97	1,264	156,992	素材
ADYEN NV		—	13	1,794	222,689	ソフトウェア・サービス
小	計	株 数 ・ 金 額	380	477	4,693	582,578
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	3	—	<7.4%>	
(ユーロ…オーストリア)						
ERSTE GROUP BANK AG		—	320	633	78,668	銀行
小	計	株 数 ・ 金 額	—	320	633	78,668
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<1.0%>	
(ユーロ…アイルランド)						
KINGSPAN GROUP PLC		282	233	1,447	179,655	資本財
KERRY GROUP PLC-A		108	103	1,133	140,700	食品・飲料・タバコ
小	計	株 数 ・ 金 額	390	337	2,580	320,356
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<4.1%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,300	2,207	13,611	1,689,596	
	銘 柄 数 < 比 率 >	11	10	—	<21.4%>	
(イギリス)				千英ポンド		
PRUDENTIAL PLC		271	—	—	—	保険
UNILEVER PLC		160	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ABCAM PLC		370	584	751	103,118	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小	計	株 数 ・ 金 額	802	584	751	103,118
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	1	—	<1.3%>	
(スイス)				千スイスフラン		
TECAN GROUP AG-REG		45	42	1,649	189,956	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PARTNERS GROUP HOLDING AG		13	14	1,241	142,962	各種金融
小	計	株 数 ・ 金 額	58	57	2,891	332,918
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<4.2%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
VESTAS WIND SYSTEMS A/S		149	149	12,208	203,523	資本財
CHRISTIAN HANSEN HOLDING A/S		90	189	13,695	228,299	素材
小	計	株 数 ・ 金 額	239	338	25,904	431,823
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<5.5%>	
(香港)				千香港ドル		
CHINA EVERBRIGHT INTERNATIONAL LIMITED		8,207	—	—	—	商業・専門サービス
BEIJING ENTERPRISES WATER GROUP LIMITED		13,220	—	—	—	公益事業
ATA GROUP LTD		1,170	1,108	7,850	105,977	保険
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		—	408	10,002	135,034	小売
TENCENT HOLDINGS LTD		175	199	10,646	143,727	メディア・娯楽
小	計	株 数 ・ 金 額	22,772	1,715	28,499	384,739
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	3	—	<4.9%>	
(インド)				千インドルピー		
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE		379	—	—	—	銀行
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE		755	548	94,154	132,758	ヘルスケア機器・サービス

銘	柄	期首(前期末) 株 数	当 期 株 数	期 末 評 価 額		業 種 等
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		百株	百株	千インドルビー	千円	
HDFC BANK LIMITED		—	600	63,062	88,917	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	1,135	1,148	157,216	221,675	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<2.8%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	30,496	9,899	—	7,033,562	
	銘 柄 数 < 比 率 >	55	49	—	<89.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) —印は該当なし。

外国投資信託証券

2020年7月31日現在の組入れはございません。

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
(アメリカ)			千口
SBA COMMUNICATIONS CORP			4
合 計		口	数
	銘 柄 数		4
	銘 柄 数		1

(注) 口数の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年7月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 7,339,617	% 92.4
コール・ローン等、その他	599,911	7.6
投資信託財産総額	7,939,528	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（7,523,457千円）の投資信託財産総額（7,939,528千円）に対する比率は94.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=104.60円、1ユーロ=124.13円、1英ポンド=137.21円、1スイスフラン=115.13円、1スウェーデンクローナ=12.04円、1デンマーククローネ=16.67円、1香港ドル=13.50円、1インドルビー=1.41円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,939,528,618
コール・ローン等	598,684,712
株式(評価額)	7,339,617,097
未収配当金	1,226,809
(B) 負債	60,110,255
未払解約金	60,110,000
未払利息	255
(C) 純資産総額(A－B)	7,879,418,363
元本	2,378,398,885
次期繰越損益金	5,501,019,478
(D) 受益権総口数	2,378,398,885口
1万口当たり基準価額(C／D)	33,129円

(注) 期首元本額2,512,178,255円、期中追加設定元本額330,443,439円、期中一部解約元本額464,222,809円。当期末現在における1口当たり純資産額3,3129円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ	215,970,801円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	1,400,442,874円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー1	88,804,865円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー2	112,513,195円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー3	560,667,150円

○損益の状況 (2019年8月1日～2020年7月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	53,820,414
受取配当金	51,241,577
受取利息	2,616,938
支払利息	△ 38,101
(B) 有価証券売買損益	1,353,838,193
売買益	1,940,535,473
売買損	△ 586,697,280
(C) 保管費用等	△ 5,334,732
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,402,323,875
(E) 前期繰越損益金	4,414,297,560
(F) 追加信託差損益金	582,115,234
(G) 解約差損益金	△ 897,717,191
(H) 計(D＋E＋F＋G)	5,501,019,478
次期繰越損益金(H)	5,501,019,478

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。